

春の花粉症診断には、スギやヒノキに加えて
ハンノキ、シラカンバの花粉も測定しましょう



ハンノキ(榛の木)とは

- ブナ目カバノキ科で身近な公園から山地など日本各地に分布しています。
- スギ花粉より早く1月から花粉を飛散し春の花粉症の原因となる花粉です。
- アレルギー性鼻炎患者における特異的 IgE 抗体検査でのハンノキ陽性率は、成人で約 20%^{1,2)}、小児では 34 ~ 50%^{3,4)}です。
- 症状の特徴として咽喉頭症状(ノドの症状)や咳などもみられます。
- ハンノキ陽性の人では花粉-関連食物アレルギー症候群(PFAS)を合併することがあります。





春の花粉症の診断にはハンノキ特異的 IgE も測定しましょう

花粉 - 食物アレルギー症候群(PFAS)とは

PFAS は、花粉症に合併することが多い食物アレルギーで、口腔粘膜を中心に比較的軽微な症状を発現します。

成人ではカバノキ科花粉症の 20~40%程度^{5,6)}、小児では 8%~17%でバラ科果物(リンゴ、モモ)による PFAS 合併が認められています^{3,4)}。また、カバノキ科(ハンノキ・シラカンバ)に陽性の方は、花粉飛散時期に PFAS も発症・悪化しやすいです。

花粉飛散時期	花粉	花粉と関連性のある食物
1~6月	ハンノキ シラカンバ	リンゴ、モモ、大豆加工品(豆乳)など 
2~4月	スギ	トマト 

春の花粉症の指導には関連性のある食物の確認や花粉対策も大切です

豆乳による PFAS の診断には大豆のアレルゲンコンポーネントであるイムノキャップ™ アレルゲンコンポーネント f353 Gly m 4 の測定が有用です⁷⁾。

参考文献 1)日耳鼻105, 1181-1188, 2002 2)アレルギーの領域5(6), 761-765, 1998 3)口咽科34(1), 21-26, 2021 4)日小ア誌35, 206-213, 2021
5)アレルギー 53, 435-42, 2004 6)日本ラテックスアレルギー研究会誌 9, 93-9, 2005 7)JACI129(3): 860-863, 2012

画像リクエストフォームのご案内

View アレルギー39『ホームページ用画像』や新たに間違いさがしなど遊びながらアレルギーについて学べる『院内モニター用動画』のご用意があります。URL もしくは二次元コードから専用フォームに必要な事項を入力の上、送信してください。



thermofisher.com/pic

NEW 間違いさがし



View アレルギー39はPFASに関連する花粉や食物アレルゲンも含まれている検査です。検査センターへご依頼ください。

Learn more at thermofisher.com/hcp-jp

thermo scientific

サーモフィッシャーダイアグノスティクス株式会社

〒108-0023 東京都港区芝浦 4-2-8 住友不動産三田ファーストビル

✉ info-jp.idd@thermofisher.com